

医療事故調査におけるヒアリング・インタビュー
聴き手のスキルで情報の質・量が大きく変わる！

医療事故の再発防止を目的とした医療事故調査制度が始まり、報告対象となる事例が発生した際には、迅速かつ的確な院内事故調査がもとめられています。事故調査においては、「何が」「どのように」「なぜ」発生したのか事実関係を明らかにするための情報収集が要となります。

医療においては、医師、看護師、薬剤師など多種の専門職の介在が多く、それぞれが持つ情報がとても重要となります。しかし、その情報は人の記憶に依存することから、記憶の特徴である忘却や変容がおきやすく、可能な限り正確に多くの情報を獲得するためには、聴き手のスキルが欠かせません。

この研修会では、ヒアリング・インタビューにおける「聴き手のスキル」に焦点を当て、ヒューマンファクター工学や心理学の視点から科学的根拠に基づいた手法を学びます。この手法を身につけることで、医療事故調査はもちろん、日々報告されるインシデントレポートの情報収集にも役立てることができます。

「もっと正確に、もっと多くの情報を引き出したい」とお考えの方、ぜひこの機会にスキルを磨いてみませんか？